

令和7年度 地域づくり懇談会次第

日程・場所

田中地区	10月 6日(月)	中央公民館
滋野地区	10月 8日(水)	滋野コミュニティーセンター
柵津地区	10月14日(火)	柵津公民館
和地区	10月20日(月)	和コミュニティーセンター
北御牧地区	10月21日(火)	北御牧公民館
時間：午後6時30分から午後8時00分まで		

1 当日の次第（進行：東御市）

1 開会（地域づくり支援課長）

2 あいさつ（企画振興部長、地域づくり協議会長、区長会長）

3 懇談 【60分】

ア 今回の地域づくり懇談会の内容説明

イ 各テーマごとにグループ分け、懇談

4 懇談結果の発表【20分】

5 その他

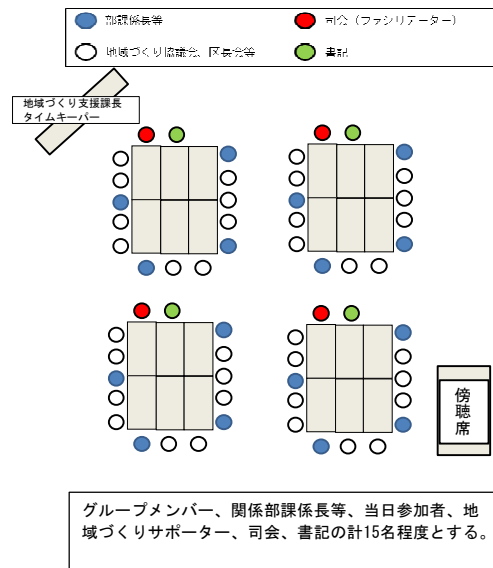
6 閉会（地域づくり支援課長）

令和7年度東御市地域づくり懇談会

【祢津地区】

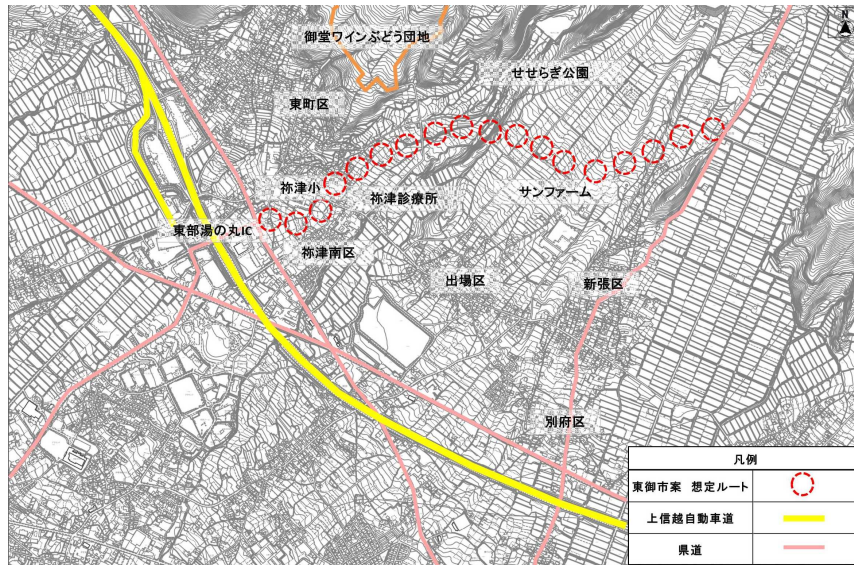
時間 (目安)	① 御堂地区、インターチェンジ、宿泊施設等を利用した地域活性化について	関係課	出された意見	市でできること	地域でできること できそうなこと	今後の方向性
25分	<p><懇談内容> 祢津の地域拠点となる上記エリアを面的にとらえた活性化を考えるうえで、市でできること、地域でできることを懇談したい。 宿泊施設について、パブリックコメントは実施しているが、改めて施設概要の説明と、過去にも進めていた構想路線(道路)について、公表できる図面等で内容説明をしたうえで懇談したい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(メモ) ①テーマについて、市から現在の構想を説明していただいたうえで懇談に入る。</p> </div>	建設課 農林課 企画振興課				
	② せせらぎ公園の今後について	関係課	出された意見	市でできること	地域でできること できそうなこと	今後の方向性
25分	<p><懇談内容> 現在のせせらぎ公園の全体の今後活用や維持管理などの整備について懇談をした</p>	総務課 建設課 教育課				

※地域づくり支援課は全てに出席する



計画事業期間	令和7～9年度（3か年度）	事業場所	新張（横堰）	総事業費	2,624,916千円 （うち、令和7年度は193,519千円）																																																																																																																																																		
財源計画	① 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）：総額1,228,309千円（交付額は当該年度ごと決定） ② 一般補助施設整備等事業債：総額1,197,900千円（うち、290,000千円程は地方交付税措置） ③ 一般財源：総額198,707千円 ※ さらに、ふるさと納税等の活用を検討。																																																																																																																																																						
事業目的	<p>本市には、多彩で魅力ある観光資源が存在しているものの、市内の観光消費の伸びは十分でない状況です。主な要因として、宿泊機能や受入体制の整備状況、体験・滞在コンテンツの充実度、インバウンド対応、知名度の向上余地などが挙げられ、これらが重なり合うことで消費拡大や波及効果の創出に課題が生じています。</p> <p>これらの状況を踏まえ、観光客の「認知」から「滞在」「体験」「周遊」「消費」へと至る流れを見直し、地域資源を最大限に活かすとともに、滞在環境とコンテンツの拡充や、情報発信と受入体制の強化、周遊性の向上を一体的に進めるなど観光振興を推進し、市内消費の拡大や雇用創出、関係人口の増加につなげることで、地方創生を図ります。</p> <p>また、本事業では古民家をシンボリックなレストランと地域物産の販売所として再生し、独自性の強化と回遊性の向上を図ります。これらの取組を通じ、経済・社会・環境のバランスに配慮した持続可能なまちづくりを進め、「東御市にまた訪れたい」と感じられる地域の魅力と暮らしやすさの両立を目指します。</p>																																																																																																																																																						
令和7年度の事業概要等	<p>本事業は、効率的・効果的で持続可能な運営を実現するため、民間の活力を積極的に活用し、設計・建設・運営・管理を一体で民間事業者が担う「DBO方式」により実施します。</p> <p>○<u>宿泊交流拠点施設整備（古民家レストラン整備含む） 193,519千円</u></p> <p>宿泊機能、地域食材を活かした飲食機能、売店及び観光情報の発信機能を充実させるとともに、施設の脱炭素化にも配慮します。</p> <p>＜内容＞ 事業用地の取得・用地測量・地質調査、既存建物撤去工事、観光推進プロモーション業務委託、DBOアドバイザリー業務 など</p> <p>＜コンソーシアム（仮称）設立＞ 市観光協会、地元自治会等、地元の金融機関・大学機関、コミュニティ放送局と連携して整備を進めます。</p>																																																																																																																																																						
令和7年度の主なスケジュール予定	<table><tr><th rowspan="2">項目</th><th colspan="3">10月</th><th colspan="3">11月</th><th colspan="3">12月</th><th colspan="3">R8年1月</th><th colspan="3">R8年2月</th><th colspan="3">R8年3月</th></tr><tr><th>上旬</th><th>中旬</th><th>下旬</th><th>上旬</th><th>中旬</th><th>下旬</th><th>上旬</th><th>中旬</th><th>下旬</th><th>上旬</th><th>中旬</th><th>下旬</th><th>上旬</th><th>中旬</th><th>下旬</th><th>上旬</th><th>中旬</th><th>下旬</th></tr><tr><td>事業用地取得</td><td colspan="3">地権者合意交渉</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="9">地目変更・所有権移転・登記等手続き</td></tr><tr><td>既存建物解体撤去工事</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="9">解体撤去工事</td></tr><tr><td>土地（地質）調査</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">地質調査</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>DBO事業者選定</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3"></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">公募・事業者選定・契約締結</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>コンソーシアム（仮称）</td><td colspan="3">準備・設立</td><td colspan="3">会議</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">会議</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">会議</td></tr></table>																		項目	10月			11月			12月			R8年1月			R8年2月			R8年3月			上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	事業用地取得	地権者合意交渉									地目変更・所有権移転・登記等手続き									既存建物解体撤去工事										解体撤去工事									土地（地質）調査				地質調査															DBO事業者選定										公募・事業者選定・契約締結									コンソーシアム（仮称）	準備・設立			会議						会議							会議		
項目	10月			11月			12月			R8年1月			R8年2月			R8年3月																																																																																																																																							
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬																																																																																																																																					
事業用地取得	地権者合意交渉									地目変更・所有権移転・登記等手続き																																																																																																																																													
既存建物解体撤去工事										解体撤去工事																																																																																																																																													
土地（地質）調査				地質調査																																																																																																																																																			
DBO事業者選定										公募・事業者選定・契約締結																																																																																																																																													
コンソーシアム（仮称）	準備・設立			会議						会議							会議																																																																																																																																						

柵津湯の丸バイパス構想の概要



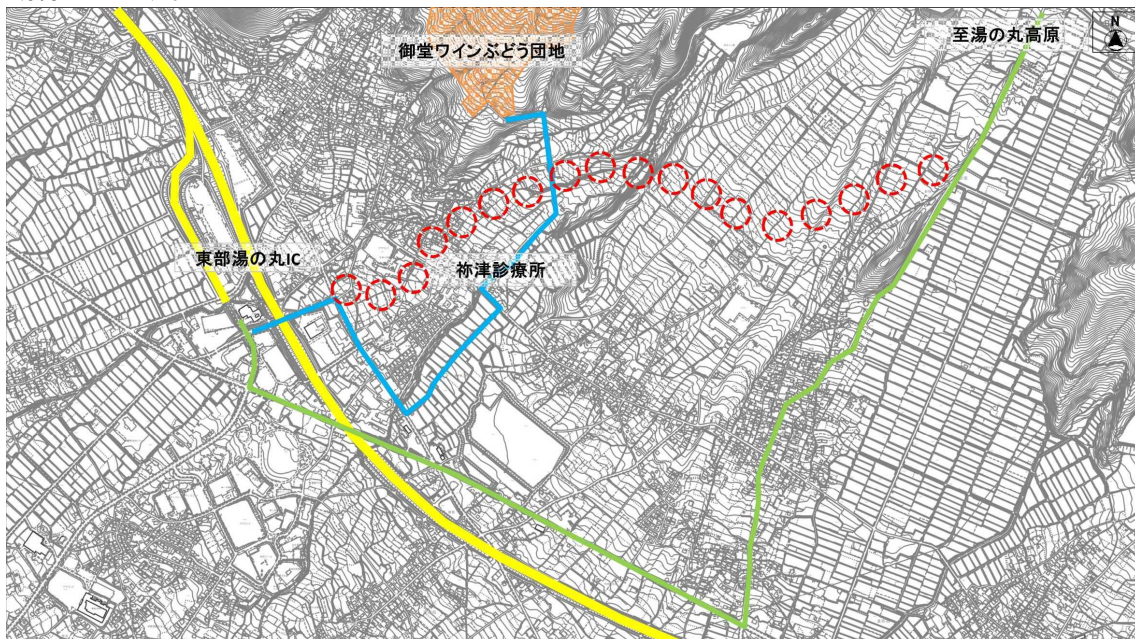
柵津湯の丸バイパスは、東部湯の丸 IC 北側交差点を起点とし、東御孺恋線と通称さくら街道の交差点を終点とする構想です。

本構想は、東部湯の丸 IC と御堂ワインぶどう団地や湯の丸高原のアクセス向上による観光振興や、企業・工場の物流効率を高める産業振興、沿線を活用した地域振興に大きく寄与する道路です。

整備効果① 観光地へのアクセス向上！

◆湯の丸高原やウィンテラス御堂等へのアクセス

湯の丸高原における冬季間のスキー客に加え、GMOアスリーツパーク湯の丸建設により通年利用するアスリートの増加。また、御堂ワインぶどう団地の造成やウィンテラス御堂の建設による柵津地区への観光客増加が見込まれるため、東部湯の丸 IC から各観光資源を結ぶバイパス整備により観光振興が期待されます。



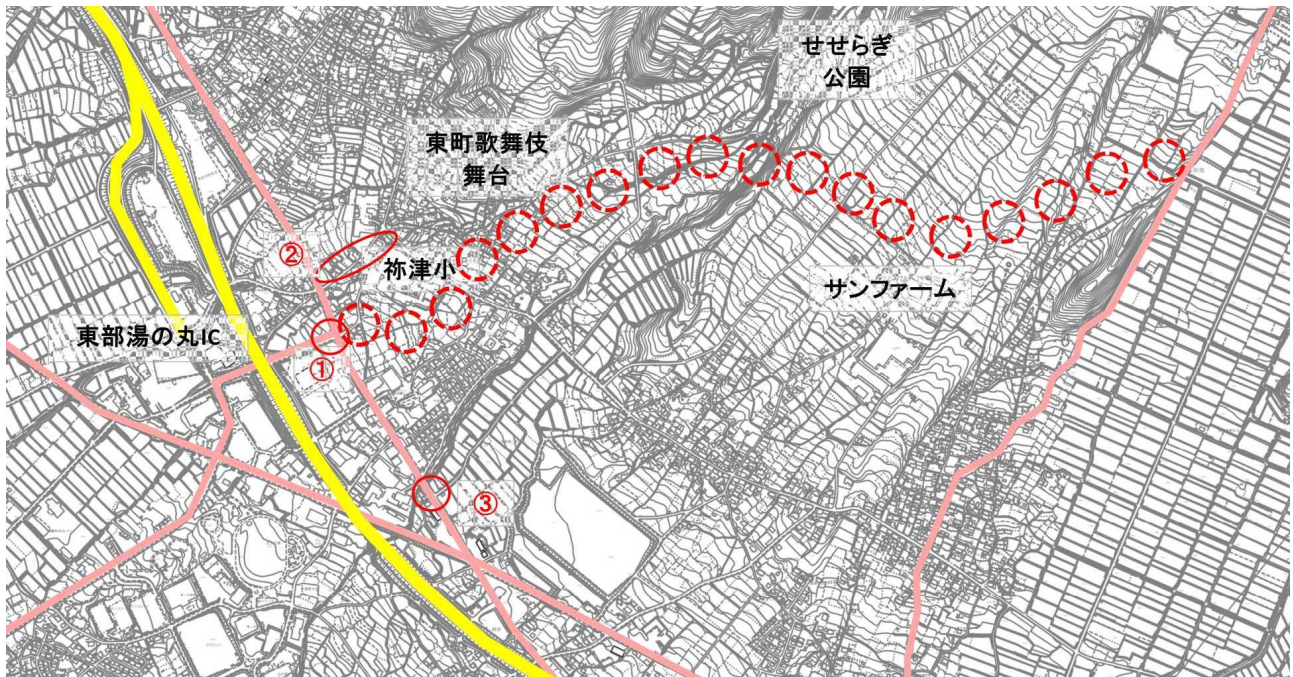
整備効果② 生活道路として地域の利便性向上！

◆公共施設や主要幹線への利便性が向上

柵津地区から市役所等への公共施設へのアクセス、国道18号、浅間サンラインへのアクセスが改善され、生活道路としての利便性向上が期待されます。

＜交通課題箇所＞

- ① 東部湯の丸 IC 北側交差点 ② 柵津保育園東側市道の狭窄部 ③ 三菱マテリアル交差点



①



②



③



整備効果③

バイパス沿線を活用した地域振興！

◆せせらぎ公園や東町歌舞伎舞台等を活用した地域振興

バイパス沿線になると想定される、せせらぎ公園（親水公園）や東町歌舞伎舞台（文化財）、サンファーム（農業体験）等を活用した地域振興により、柗津地区の関係人口増加が見込まれ、地域の活性化が期待されます。



＜せせらぎ公園（親水公園）＞



＜柗津東町歌舞伎舞台＞



＜サンファームクルミ収穫体験＞



整備効果④ 企業、工場への物流効率を高める！

◆企業、工場への大型トラックをバイパスへ誘導

出場区、新張区境にある企業、工場への大型トラックをバイパスへ誘導することで物量効率を高めることが期待できます。

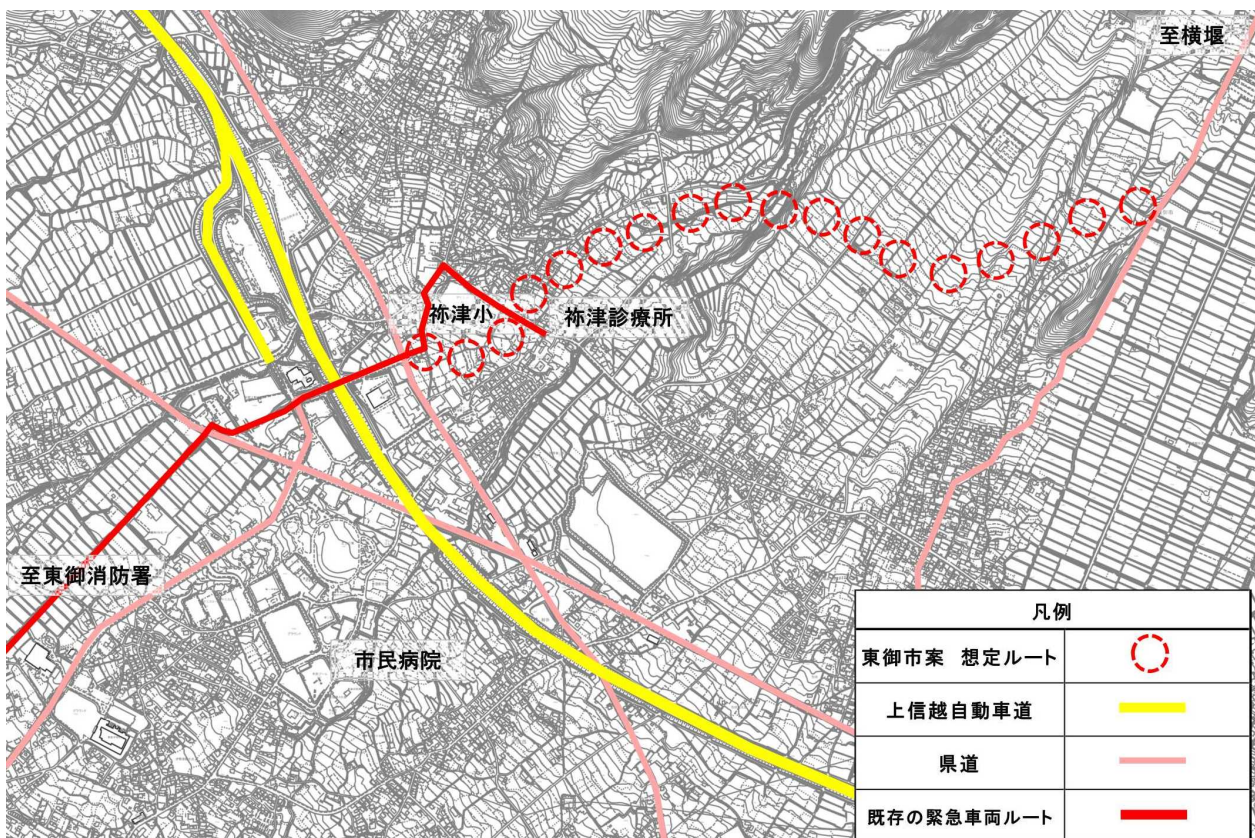


＜新張区内を通行する大型トラック＞

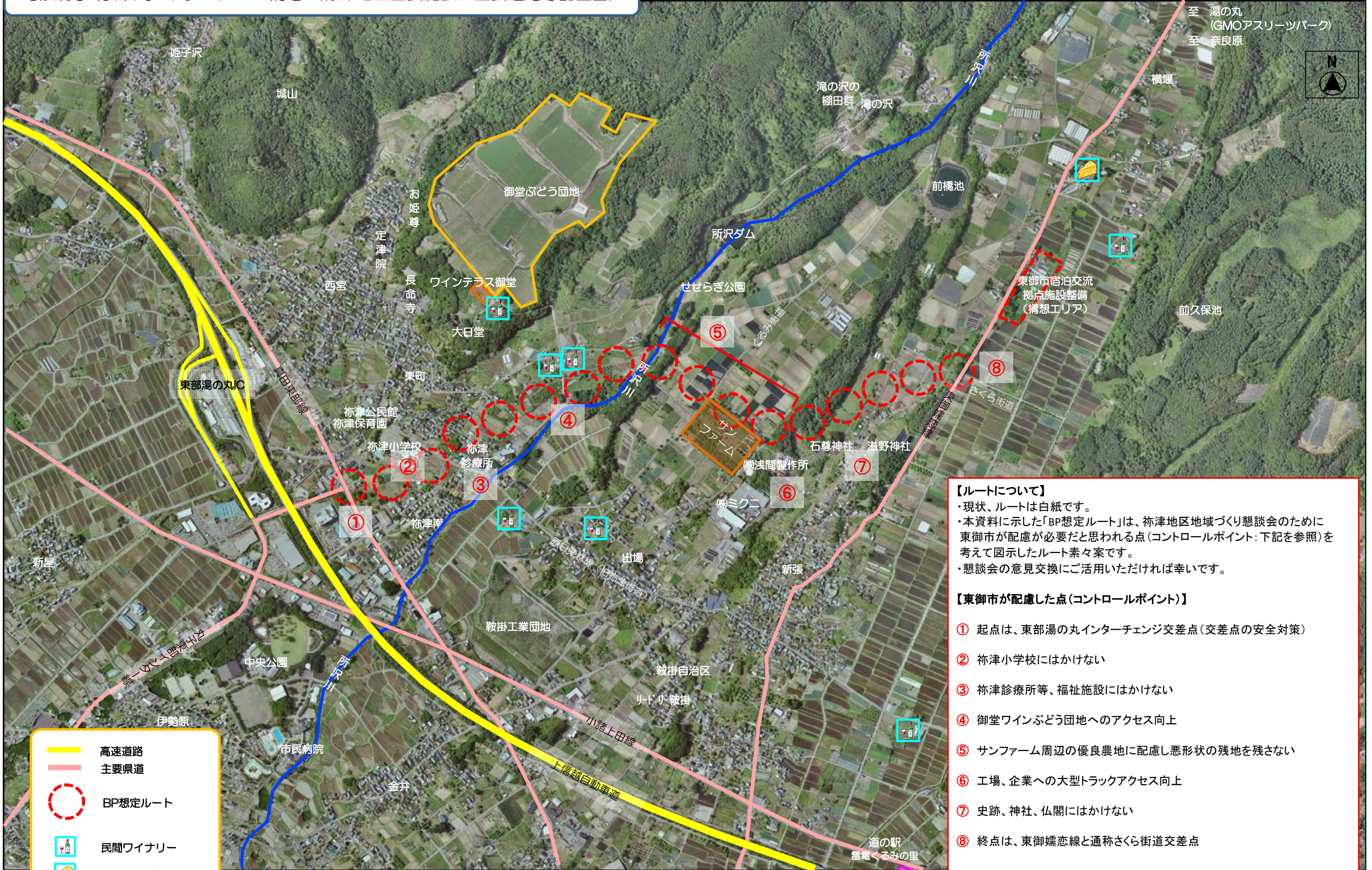
整備効果⑤ 自然災害や緊急搬送時の安全安心を確保！

◆防災拠点や医療機関へのルートがスムーズに

自然災害時の防災拠点（柵津小学校）や東御消防署から横堰以北や医療機関（柵津診療所）までの移動がスムーズになり時間短縮されることが期待されます。



【仮称】祢津湯の丸バイパス構想（祢津地区主要施設・主要道路等配置図）



【ルートについて】
 ・現状、ルートは白紙です。
 ・本資料に示した「BP想定ルート」は、祢津地区地域づくり懇談会のために東御市が配慮が必要だと思われる点（コントロールポイント：下記を参照）を考えて図示したルート素々案です。
 ・懇談会の意見交換にご活用いただければ幸いです。

【東御市が配慮した点（コントロールポイント）】

- ① 起点は、東部湯の丸インターチェンジ交差点（交差点の安全対策）
- ② 祢津小学校にはかけない
- ③ 祢津診療所等、福祉施設にはかけない
- ④ 御堂ワインぶどう団地へのアクセス向上
- ⑤ サンファーム周辺の優良農地に配慮し悪形状の残地を残さない
- ⑥ 工場、企業への大型トラックアクセス向上
- ⑦ 史跡、神社、仏閣にはかけない
- ⑧ 終点は、東御市恋線と通称さくら街道交差点

高速道路

主要県道

BP想定ルート

民間ワイナリー

民間チーズ工房

祢津湯の丸バイパスって？

(R7 祢津地区地域づくり懇談会資料)



Q1. 20 年前にも同じようなバイパス計画があったみたいだけど、発端は何だったの？

A1. 平成 12 年に、長野県からサンライン別府信号～新張滋野神社までの未改良区間の整備方法について 3 案（別紙平成 13 年「広報とうぶまち」6 月号の記事を参照）の提示がありました。



Q2. 3 案の中から、バイパス案に決定したのは誰？

A2. 長野県は、「地域の意見を事業に反映させたい」とのことから、当時の祢津地区及び滋野地区活性化委員会を主体に検討が行われ、「バイパス案」が最良であるとの回答をいただきました。



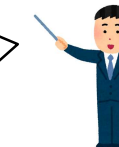
Q3. 当時のバイパス事業は誰が推進していたの？

A3. 平成 13 年に、当時の祢津地区活性化研究委員会の会長が「バイパス事業化促進委員会」の会長となり、祢津地区の 72 名の会員と旧東部町が県へバイパスの事業化を働きかけ、平成 14 年度に「新張バイパス」として事業化されました。



Q4. 当時の人たちが、「新張バイパス」に期待していたことって何？

A4. 東部湯の丸 IC から湯の丸高原等への観光アクセス促進や、バイパス建設による地域活性化、観光地までの通過交通減少による集落内の交通安全等であったと思います。





Q5. なぜ、「新張バイパス」は 2025 年まで建設できていないの？

A5. 県で事業化され、第 1 期工事区間の測量・設計を進めていましたが、地権者から事業について反対の意見が多く上がりました。バイパス事業化促進委員会と協議し、「機が熟すのをまったらどうか」との意見から、バイパス事業を休止し現在に至ります。



Q6. なぜ今、バイパス事業推進の話が再度出てきたの？

A6. 休止から 20 年が経過し、祢津地区の湯の丸高原には高地トレーニング施設ができ、御堂には広大なワイン用ブドウ畑が整備されました。また祢津地区には 7 つのワイナリーが建設され、20 年前より集落内の観光通過交通は増えています。
このため、湯の丸や御堂へのアクセス向上を目的に、東部湯の丸インターから東御孺恋線までの道路整備を県へお願いしています。



Q7. 長野県は、どういう立場なの？

A7. 長野県総合 5 年計画「しあわせ信州創造プラン 3.0」で、「産業・観光及び交通拠点のアクセス性の向上」を目的に「調査の実施等を検討する箇所」として東御孺恋線「新張」を位置づけていただいています。休止からの再スタートなので、事業主体の県では、事業内容は決定していないのが現状です。
市では、バイパス名称を「新張バイパス」から「祢津湯の丸バイパス」に変更し、県へ事業化の要望をしています。





Q8. では、現在の祢津湯の丸バイパスの必要性和効果はなに？

A8. 祢津湯の丸バイパスの必要性和効果は以下の点が挙げられます。

○必要性

- ・バイパス関係区内における交通安全の確保
- ・知名度が更に高まってきた湯の丸高原の観光振興を後押しし、祢津地区のワインをはじめとした観光農業の発展や祢津地区の活性化

○効果

- ①祢津地区の観光資源と東部湯の丸 IC のアクセス向上
- ②生活道路として地域の利便性が向上
- ③バイパス沿線を活用した地域振興
- ④東部湯の丸 IC から企業、工場への物流効率が高まる
- ⑤自然災害や緊急搬送時における緊急車両の時間短縮による安心安全の確保



Q9. 示されているルートは決定事項なの？

A9. 提示したルートは、地域の皆さんと活発な意見交換ができるよう配慮が必要だと思われる点（コントロールポイント）を東御市が考え描いた素案です。正式なルートは長野県で調査等を行い、地域の意見を反映させながら事業化した中で決定していきます。





Q10. 東御市が配慮した点（コントロールポイント）って？

A10. 東御市が配慮した点（コントロールポイント）は以下の点です。

1. 起点は、東部湯の丸 IC 北側交差点（別途図面①）
2. 祢津小学校にはかけない（ // ②）
3. 祢津診療所等、福祉施設にはかけない（ // ③）
4. 御堂ワインぶどう団地へのアクセスがしやすいルート（ // ④）
5. サンファーム周辺の優良農地に悪形状の残地を残さない（ // ⑤）
6. 工場、企業への大型トラックアクセス向上（ // ⑥）
7. 史跡、神社、仏閣にはかけない（ // ⑦）
8. 終点は、東御孺恋線と通称さくら街道交差点（ // ⑧）



Q11. 今後はどのように進めていくの？

A11. バイパス事業は計画の検討から工事完了まで、10 年以上を要する事業です。このため、地域を代表する方との継続的な意見交換が課題となっています。今後は、継続的な意見交換ができる組織の立ち上げ等を検討し、関係する皆様と協議する中で、組織立ち上げ前の準備（検討）会的なものを来年の早い時期に設けていきたいと考えています。



10 年後、20 年後の関係区の交通環境改善、祢津地区の地域振興、観光振興のため、是非、地域の皆様も一緒にバイパスの必要性、効果をご検討くださいますようお願いいたします。

祢津湯の丸バイパスに関するアンケート結果【要約版】

【アンケートの詳細な結果については本レジメの最終ページをご覧ください】

●アンケート対象者

東町区、祢津南区、新張区、出場区の三役、役員 計 42 名

●アンケート 1

- | | | |
|-----|---------------------------------|-------|
| ○Q1 | 当時の新張バイパスの計画について知っている、聞いたことがある | 25/42 |
| ○Q2 | 新張バイパスの全体ルートを知っている、概ね知っている | 12/25 |
| ○Q3 | 一部事業化された第一期事業のルートを知っている、概ね知っている | 9/25 |
| ○Q4 | 新張バイパスの第一期事業を進めるべきだった | 4/ 9 |
| ○Q5 | 新張バイパスへの期待が大きかった、多少はあった | 8/ 9 |

●アンケート 2

- Q1 バイパスの調査を検討するうえで区や地域にとって何が課題になると思いますか、また何が必要と考えますか？（複数回答可）
- ・地域内の交通安全 23 名 ・必要性についての十分な説明 22 名
 - ・高齢者や子供の安全 18 名 ・ルート 14 名 ・災害への備え 11 名 他 5 項目
- Q2 このアンケートを基に、長野県を交えた意見交換の場に参加する、都合がつけば参加する
- 24/42

●自由意見

- ・IC～湯の丸は大きい道路を整備してほしい。
- ・地元の人もバイパスを利用しやすく、施設等も行きやすくしてほしい。
- ・観光客を呼べる施設を誘致し、地区の活性化を図ってほしい。
- ・交通量の増加に伴う小学生の安全対策を提示してほしい。
- ・ルートに関して住民の意見に寄り添い、案を提示してほしい。

- ・ルート案の提示がないのはなぜ？
- ・高齢化が進むなか、道路整備は必要ない。
- ・道路整備よりも他に取るべきことがあるのではないか。（公共交通、道路の補修等）
- ・バイパス効果について不明な点がある。住民が納得できる説明を果たしてほしい。
- ・財源についての説明が不足している。
- ・小学校の近くを通さず、既存の道路を活用し住民の負担が少ない方策を考えればよい。
- ・バイパスの建設により、ワインとスポーツの振興が図れるのか疑問。

各区役員の皆様

○バイパス検討の経緯及びアンケートのお願い

平成13年頃、当時の祢津活性化委員会を中心に、平成8年に供用開始された「上信越自動車道東部湯の丸インター」と主要観光地である「湯の丸高原」へのアクセス向上や、産業及び観光の重要路線である主要地方道東部嬬恋線（現名称は東御嬬恋線）の人家連たん・狹隘区間である新張集落内の安全性確保等のため、地元祢津地区においてバイパス事業化促進委員会が発足、バイパス計画が検討推進され、県へ要望を行ってきました。

平成14年に、丸子東部インター線と主要地方道真田東部線（旧菅平有料）交差部から新張地籍の主要地方道東部嬬恋線（滋野神社北側桜街道付近）を結ぶ、全長約2kmに及ぶ「新張バイパス」計画のうち、一部区間が第1期事業として事業化がされましたが、当時の諸般の事情により、平成15年に計画が休止（中止ではなくあくまで休止）となり、バイパスのルートも白紙の状態となりました。

その後東御市となり、市の施策として「千曲川ワインバレー構想」によるワイン特区取得を皮切りに、ワイン振興を軸とした「祢津東町御堂地区の大規模ワイン用ぶどう団地」を整備、山岳・スキー等の観光地である湯の丸高原には、標高差と首都圏からの近さを生かした「高地トレーニング」の施設整備を行うなど、ワインとスポーツの両軸による地域振興を図って参りました。

バイパス計画の凍結から約20年が経過した昨年度に、長野県総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン」の見直しが行なわれる中で、主要地方道東御嬬恋線が、「産業・観光および交通拠点へのアクセス向上に向けた調査を検討する路線」として、「東御市 新張地区」を新たに位置づけていただいたことから、市としましては、「東部湯の丸インター」と「湯の丸」並びに御堂地区へのアクセス向上による、産業と観光の更なる振興と災害時における交通拠点へのアクセス整備が図られるチャンスと捉え、まずは祢津地区で一番の関係区となる、東町区、出場区、新張区及び祢津南区の三役へ経過をご報告し、各区協議員等の皆様にご意見をアンケートと自由意見でお聞きするものです。

是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

アンケート1 当時のバイパス計画について

(Q (質問) について、A (回答) のいずれかに○をしてください)

回答： _____ 区

●計画が凍結された「新張バイパス」についてお聞きします

Q 1 「新張バイパス」の計画について

A 1 知っている ・ 聞いたことがある ・ 知らない

上記Q 1で「知っている」又は「聞いたことがある」を選択した場合

Q 2 「新張バイパス」の全体ルートの計画について

A 2 知っている ・ 概ね知っている ・ 知らない

Q 3 一部事業化された「新張バイパス」の第1期事業のルートについて

A 3 知っている ・ 概ね知っている ・ 知らない

上記Q 3で「知っている」又は「概ね知っている」を選択した場合

Q 4 当時の「新張バイパス」の第1期事業についてどう思われますか？

A 4 進めるべきだった ・ 凍結は妥当 ・ 分からない

Q 5 当時の「新張バイパス」への期待は

A 5 大きかった ・ 多少はあった ・ 関心がなかった ・ 分からない

「新張バイパス」についてのアンケートは以上です。

次項以降の、道路整備に関するアンケートについてもお願いします。

アンケート2 道路整備に関するご意見について

(自由な意見を頂けると幸いです)

回答： _____ 区

Q 1 バイパスの調査を検討するうえで、区や祢津地域として何が課題となると思いますか？また、何が必要と考えますか？（複数可）

A 1 ルート ・ 必要性についての十分な説明 ・ 住民の意向総意の取り纏め

地域内の交通安全 ・ 高齢者や子供の安全 ・ 環境面 ・ 農業振興

地区等の文化伝統等との調整 ・ 災害への備え ・ 分からない

自由意見欄：

Q 2 今後、このアンケートを基に、長野県を交えた意見交換等の場を設けたいと考えていますが、参加について如何でしょうか？

A 2 参加する ・ 都合が付けば参加する ・ 参加しない

アンケートは以上です。ありがとうございました。

今後の計画検討の体制や計画検討で考慮すべき項目など、その他ご意見ある場合は、別紙、ご意見欄をご活用ください。

【詳細】柵津湯の丸バイパスに関するアンケート結果(令和6年度実施)

○アンケート1 当時のバイパス計画について

		東町	柵津南	新張	出場	合計	割合
		11	11	14	6	42	
Q1 新張バイパス計画について	知っている	0	3	6	1	10	24%
	聞いたことがある	5	4	2	4	15	36%
	知らない	6	4	6	1	17	40%
Q2 全体ルート計画について (Q1知っているor聞いたことがあると回答した方のみ)	知っている	0	1	1	1	3	12%
	概ね知っている	2	3	4	0	9	36%
	知らない	3	3	3	4	13	52%
Q3 第1期事業計画について (Q1知っているor聞いたことがあると回答した方のみ)	知っている	0	1	1	0	2	8%
	概ね知っている	1	1	4	1	7	28%
	知らない	4	5	3	4	16	64%
Q4 第1期事業計画について (Q3知っているor概ね知っていると回答した方のみ)	進めるべきだった	0	0	3	1	4	44%
	凍結は妥当	0	1	0	0	1	11%
	分からない	1	1	2	0	4	44%
Q5 計画への期待について (Q3知っているor概ね知っていると回答した方のみ)	大きかった	0	0	1	1	2	22%
	多少はあった	1	1	4	0	6	67%
	関心がなかった	0	0	0	0	0	0%
	分からない	0	1	0	0	1	11%

○アンケート2 道路整備に関するご意見について

		東町	柵津南	新張	出場	合計	割合
		11	11	14	6	42	
Q1 区や柵津地域としての課題 (複数回答可)	ルート	3	2	7	2	14	
	必要性についての十分な説明	2	11	8	1	22	
	住民の意向総意の取り纏め	1	3	2	1	7	
	地域内の交通安全	5	8	6	4	23	
	高齢者や子供の安全	4	8	4	2	18	
	環境面	2	2	1	0	5	
	農業振興	0	3	0	0	3	
	地区等の文化伝統等との調整	0	3	1	0	4	
	災害への備え	1	5	5	0	11	
	分からない	0	0	1	1	2	
	自由意見	1	5	3	1	10	
Q2 意見交換の場への参加意向	参加する	0	2	2	0	4	10%
	都合が付けば参加する	3	5	9	3	20	48%
	参加しない	6	2	3	2	13	31%
	空欄	2	2	0	1	5	12%

○アンケート2に関する自由意見

(東町区役員)

高齢化が増々進み、宮川地区もあと何年かすれば80代の住民が増える中で道路の整備などは必要と思いますが、買い物難民(自動車の運転)など交通環境を整えて公共交通機関の在り方など他に進める事があると思う！地域発展も必要だが人口問題の方が先行(税金)お金の入れ出しが出来なくなる。

(柗津南区役員)

地元の人もバイパスを利用し易く、また施設等も行き易くする。
観光客を呼べる施設を誘致し、地区の活性化を計る。

(柗津南区役員)

バイパスは必要ないと考えます。

(柗津南区役員)

- 1、「バイパス」の必要性について「渋滞」「せまい」「時短」などの解消や経済的効果・観光効果などが上げられると思います。
- 2、バイパス効果について不明な点がある。
- 3、以上の課題を「住民」が納得できる説明を果たしてほしい。
- 4、財源について説明も不足と思う。
- 5、既存の道路でも十分なアクセスが取れると思う。

(柗津南区役員)

- ・交通量の増加に伴う小学生の安全対策を提示すること。
- ・ルートに関して住民の意見に寄り添い、案を提示すること。
- ・信号機の有無
- ・大型車両がブレーキ加熱による事故が多発しているため、対策を講じること。

(柗津南区役員)

私も必要性があるのかがわからない。農業をする方に有利ならいいのですが。

(新張区役員)

柗津区内で朝・帰宅時の交通のラッシュが目立ちますので、改善または別手段があれば検討をお願いします。

(新張区役員)

道路の新設は不要。

(新張区役員)

IC～湯ノ丸は大きい道路を整備してほしい。

(出場区役員)

バイパスが検討されるのはわかるが、具体的な完成時期がわからない。20XX年の完成など具体的に知りたい。
※このアンケートの依頼人がわかりません。”市としましては”とはありますが、出所がわかるようお願いいたします。市からですか？県からですか？

○全体に対する自由意見

(東町区役員)

私は5年ほど前に上田市から東御市に移り越して来ましたが、区費1つにしても人口が上田に比べて人口減なので区費が高すぎ！人口を増やすには？方法があるのか(魅力ある市)？家の周りの住民は高齢者が多く、村の役も5年間ずっと役員をしていますが、村の行事から河の掃除から山の草刈り年に5～6回駆り出されます。若い人が村に入って来ますか？高齢者が色々な行事に参加出来るのでしょうか？これからが一番心配になって来ます。
68歳の住民より

(柗津南区役員)

市のメリットは何があるのでしょうか？(私たち市民のメリット)道路に大金をかけて作ってもいいですが、子供の通学の安全第一だと思います。無理に小学校の側を通さずに新張東側にある通称「ダンプ道路」を整備し、住民の負担が少ない方策を考えれば良いと思います。(小諸インターを視野に入れると良いと思います)柗津小学周辺にバイパスを作るのは反対です。又中途半端に造られて既存の道路への出入りが危険になり事故が増える可能性もあります。現状をよく見てどこにどんなバイパスを造れば大勢の賛同を得られるか検討していただきたい。

(柗津南区役員)

- ・バイパスによりワインとスポーツの振興が図れるのか疑問である。
- ・それだけの人が集約・集結するのか疑問である。
- ・費用と収入が十分ペイできるのかも疑問である。つまり疑問が多いバイパス建設ではないか。
- ・添付資料(地図)には「白紙」の状況なのは変。「案としての記入」が無いのはなぜ？

(新張区役員)

人口減少に向かう時代に道路建設は必要ない。既存の道路の補修へ財源振り向けるべき。

(出場区役員)

子供の通学道路の確保出来るか心配がある。